

# 佐井村地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

## 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は漁業・農業が基幹産業であり、農業では水稲＋野菜、水稲＋畜産の経営が主に行われている、農家の経営規模は小さく、自給的な個人経営農家が多い。

鳥獣被害が多く、また、平坦な農地が少なく、農業者の高齢化・担い手不足が進んでいることから大規模化や機械化が困難で、不作付地が増加している。

近年は高齢化によって、作物を作付して自家消費する家庭より、農作物を購入して生活をしている家庭が増えてきていることから、村の産直施設における野菜不足が課題となっている。

## 2 作物ごとの取組方針等

村内の約 56ha の水田（不作付地を含む）について、適地適作を基本として、産地交付金を有効活用しながら、不作付地の拡大を抑え、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

### (1) 主食用米

地産地消を中心として需要に応じた米の生産を行う。

### (2) 非主食用米

#### ア 飼料用米

該当なし。

#### イ 米粉用米

該当なし。

#### ウ 新市場開拓用米

該当なし。

#### エ WCS 用稲

該当なし。

#### オ 加工用米

該当なし。

#### カ 備蓄米

該当なし。

### (3) 麦、大豆、飼料作物

飼料作物は当地域の水田転作作物の中で最も多く取り組まれており、今後も耕畜連携による自給粗飼料の生産を推進していく。

麦、大豆は該当なし。

### (4) そば、なたね

該当なし。

(5) 高収益作物（野菜等）

「アピオス」など11品目を当地域の重点品目とするほか、園芸作物などについて、産地交付金を活用して生産振興を図る。産直施設における野菜不足が村の課題として挙げられており、地元における消費が期待できることから、作付面積の維持・拡大、さらには品質の向上を図る。

(6) 畑地化の推進

該当なし。

**3 作物ごとの作付予定面積**

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	5.2	5.2	5.2
飼料用米	0.0	0.0	0.0
米粉用米	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	0.0	0.0	0.0
WCS 用稲	0.0	0.0	0.0
加工用米	0.0	0.0	0.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0
麦	0.0	0.0	0.0
大豆	0.0	0.0	0.0
飼料作物	13.8	13.8	14.5
そば	0.0	0.0	0.0
なたね	0.0	0.0	0.0
その他地域振興作物	1.81	2.44	3.40
野菜			
・アピオス	0.41	0.50	0.60
・ばれいしょ	0.53	0.60	0.70
・とうもろこし	0.16	0.20	0.25
・ふき	0.15	0.20	0.25
・ダイコン	0.05	0.08	0.15
・ハクサイ	0.04	0.08	0.15
・キャベツ	0.04	0.08	0.15
・かぼちゃ	0.24	0.30	0.40
・ほうれんそう	0.07	0.10	0.15
・ネギ	0.07	0.10	0.15
・えだまめ他 17種	0.00	0.10	0.30
花き			
・キク	0.05	0.1	0.15

#### 4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	現状値		目標値	
1	アピオス ばれいしょ とうもろこし ふき ダイコン ハクサイ キャベツ かぼちゃ ほうれんそう ネギ キク	地域振興作物助成①	作付面積	(29年度)	1.81ha	(32年度)	3.10ha
2	えだまめ トマト ミニトマト アスパラガス きゅうり そらまめ なす にんじん ブロッコリー メロン すいか ゆうがお カリフラワー 小豆 さつまいも いちご ピーマン やまうど	地域振興作物助成②	作付面積	(29年度)	0.00ha	(32年度)	0.30ha